

第12回 情報科学シンポジウム

「海の生き物の声からわかること」

～音のビックデータから種や個体数を知る情報科学～

赤松友成（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所）



スナメリ ©：王小強, IHB, CAS



日本ではじめての本格的な洋上風力発電所(銚子沖)

2018年8月24日(金) 18:00～20:00

東北学院大学 ホーイ記念館ホール

(仙台市青葉区五橋二丁目7-25 仙台市営地下鉄五橋駅から徒歩約5分)

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

入場無料 (事前申し込み不要)

[アイスランドのザトウクジラ Photo: Maria Iversen]

声がすれども姿は見えずとは、海の生き物によくあてはまります。水中は見通しがわるいため、音が水中探査の主要な役割を担ってきました。イルカやクジラだけでなく、魚もエビもよく鳴きます。その声を聞くことで、ある生き物の存在だけでなく、動きや数や回遊がわかるようになってきました。

このシンポジウムでは、いま海から得られはじめている膨大な音響データからみえてきた海洋生物の行動や生態を、中学生から大人までわかりやすく紹介いたします。生物、情報科学、海洋資源の活用について興味のある方、どなたでもご参加ください。お待ちしております！

主催 東北学院大学教養学部情報科学科

後援 河北新報社 仙台市教育委員会

日本音響学会東北支部



問合せ先：東北学院大学教養学部情報科学科

Tel/Fax：022-773-3318

e-mail：secretary@cs.tohoku-gakuin.ac.jp